

改善事例発表大会2024

2024年 6月 26日 開催

京都テルサ
(京都府京都市)



大会の注目ポイント!

生産・保全現場の困りごと・課題に
挑んだ改善事例が集結!
あなたの現場をより良くする
改善ヒントが多数!!

現場主体のDXに挑戦した改善

故障・不良ゼロへの挑戦

考動できる人財育成エピソード

のほか、今、注目の発表テーマが多数!!

イベントの詳細・お申込みは、
改善事例発表大会公式サイト
<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



発表後の交流会で
さらに詳しい情報
交換ができます!
(苦勞話や失敗談も)

発表企業

旭化成 ※50音順、法人格略
クボタ
サカティクス
サントリープロダクツ
シスメックス
ダイキン工業
東北グンゼ
東レ
西日本積水工業
日本製鉄

発表数: 10社 13事例

会場アクセス



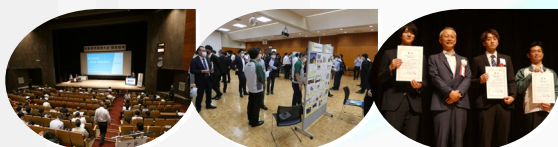
〒601-8047
京都府京都市南区
東九条下殿田町70

■ 近鉄「東寺駅」
地下鉄「九条駅」
下車 徒歩5分

参加料 (税込み)

会員価格 ※ 18,150円 / 名
一般価格 23,650円 / 名

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、テキスト(資料)代・昼食代が含まれています
- ※ 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会(正会員・事業所会員)、もしくは一般社団法人日本能率協会(法人会員)の会員である必要があります
- ※ 会員ご入会の有無は、下記WEBサイトにてご確認ください
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>
・一般社団法人 日本能率協会 <https://list.jma-member.com/>
会員以外の方は、この機会に是非当会会員へのご入会をご検討ください
- ※ 経営者懇話会は無料招待いたします




全国設備管理強調月間とは、

経営者層をはじめ全従業員の設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています



| 時間 | | 発表情報 | |
|-------------|---------------------|---|---|
| 09:15▶ | | 開場・受付開始 | |
| 09:45▶09:55 | | 開会のあいさつ | |
| 事例1 | 09:55 ▼ 10:15 | 工務・保全 定期点検業務の効率的な管理体制の構築 株式会社クボタ 堺製造所 エンジン生産技術課 | 今中 俊吾 <発表キーワード> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化 ● 設備の信頼性向上 |
| | 10:15 ▼ 10:35 | 運転・製造 インキ生産工程における廃液の削減 サカタインクス株式会社 滋賀工場 情報メディア事業部 製造部 滋賀製造グループ | 大塚 光 <発表キーワード> ● コストダウン ● 設備の信頼性向上 ● 環境・省エネルギー |
| 事例3 | 10:35 ▼ 10:55 | 運転・製造 キャップ外観検査機 検査設定作成時間・調整停止のハーフ化 サントリープロダクツ株式会社 高砂工場 包装部門 | 江副 真悠 <発表キーワード> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化 |
| | 11:05 ▼ 11:25 | 工務・保全 PLCを使用したデータ収集・監視システムによる生産性向上 旭化成株式会社 守山製造所 守山設備技術部 | 金築 智広 <発表キーワード> ● デジタル技術を利用した改善 ● 設備の信頼性向上 ● 品質安定化・向上 |
| 事例5 | 11:25 ▼ 11:45 | 運転・製造 FFU人的生産性の向上～全員で1.3倍への挑戦～ 西日本積水工業株式会社 栗東製造所 製造部 FFU製造課 | 川島 暁子 <発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 作業の効率化・容易化 ● 人財育成 |
| | 11:45 ▼ 12:05 | 運転・製造 潤滑油管理強化によるトラブル削減 ダイキン工業株式会社 淀川製作所 化学事業部 化学品製造部 | 屋子 聡志 <発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 自主保全 |
| 12:05▶12:50 | | 昼休憩(全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介) | |
| 事例7 | 12:50 ▼ 13:10 | 運転・製造 インキ充填における手直しロスの削減 サカタインクス株式会社 大阪工場 情報メディア事業部 製造部 大阪製造グループ | 中野 裕紀 <発表キーワード> ● デジタル技術を利用した改善 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化 |
| | 13:10 ▼ 13:30 | 工務・保全 体質強化による創益体質への変革 東北グンゼ株式会社 染工課 生産管理課 係長 | 柳田 陽平 仲鉢 浩也 <発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 改良保全 ● デジタル技術を利用した改善 |
| 事例9 | 13:30 ▼ 13:50 | 運転・製造 ラップラウンドケーサー 集積バー衝突での停止時間0化 サントリープロダクツ株式会社 宇治川工場 包装部門 | 平 隼人 <発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 自主保全 |
| | 14:00 ▼ 14:20 | 運転・製造 紙バックライン 緩衝材に関する作業負荷軽減 シスメックス株式会社 小野工場 診断薬生産本部 第二生産部 製造課 一係 | 永井 裕士 <発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● 改良保全 ● 環境・省エネルギー |
| 事例11 | 14:20 ▼ 14:40 | 工務・保全 圧縮機組立ライン設備故障削減による生産能力向上 ダイキン工業株式会社 堺製作所 空調生産本部 臨海製造部 | 福崎 裕員 <発表キーワード> ● 計画保全 ● 予防保全・予知保全 ● 自主保全 |
| | 14:50 ▼ 15:10 | 工務・保全 圧延機巻取装置 ロータリージョイント延命化 日本製鉄株式会社 瀬戸内製鉄所 設備部 広畑機械整備室 班長 | 友栗 誠一 <発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 改良保全 |
| 事例13 | 15:10 ▼ 15:30 | 工務・保全 トレビーンカートリッジ組み立て工程の稼働率向上 東レ株式会社 滋賀事業場 工務部 工務保全課 課員 | 木村 遼 <発表キーワード> ● デジタル技術を利用した改善 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 設備の信頼性向上 |
| | 15:40▶16:25 | | 発表者との交流会 |
| 16:30▶16:40 | | 表彰式 | |

| | | |
|------------|---|---|
| <p>事例1</p> | <p>定期点検業務の効率的な管理体制の構築</p> <p>株式会社クボタ 堺製造所 エンジン生産技術課 今中 俊吾</p> <p>生産設備の定期点検業務におけるムダ・ムラ・ムリを無くし、点検実施から修理完了までの時間を削減した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化 ● 設備の信頼性向上 | <p>FFU人的生産性の向上 ～全員で1.3倍への挑戦～</p> <p>西日本積水工業株式会社 栗東製造所 製造部 FFU製造課 川島 暁子</p> <p>製造課チャレンジ目標の生産性1.3倍を達成するために課全体でテーマに取り組み、その中の「突発休止トラブルの撲滅」と、「受注票ゼロ化」をテーマとした事例を発表する。活動の結果、ムリ・ムラ・ムダを排除することができ、目標を達成した。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の信頼性向上 ● 作業の効率化・容易化 ● 人財育成 |
| <p>事例2</p> | <p>インキ生産工程における廃液の削減</p> <p>サカタインクス株式会社 滋賀工場 情報メディア事業部 製造部 滋賀製造グループ 大塚 光</p> <p>インキの生産過程において、発生する廃液の量が季節によって異なる点に着目。設備の機能構造を分析して原因を追究し、配管の性状や構造を変更することにより、廃液削減を達成した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● コストダウン ● 設備の信頼性向上 ● 環境・省エネルギー | <p>潤滑油管理強化によるトラブル削減</p> <p>ダイキン工業株式会社 淀川製作所 屋子 聡志 化学事業部 化学品製造部</p> <p>潤滑油の管理不足による回転機の故障トラブルを受け、潤滑油管理に関して総点検を実施し、抽出した課題について4Mの観点から改善策を決定。潤滑油及び機器の点検・管理方法を見直すことでトラブルゼロを目指す事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 自主保全 |
| <p>事例3</p> | <p>キャップ外観検査機 検査設定作成時間・調整停止のハーフ化</p> <p>サントリープロダクツ株式会社 高砂工場 包装部門 江副 真悠</p> <p>新製品生産開始時に検査機設定作業があり、多くの工数を必要としている。新製品が増加するにつれ、停止ロスも増加しているため、検査設定時間・調整停止を4M視点で解析し作業時間ハーフ化を達成した改善事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化 | <p>インキ充填における手直しロスの削減</p> <p>サカタインクス株式会社 大阪工場 情報メディア事業部 中野 裕紀 製造部 大阪製造グループ</p> <p>インキを充填する際にコンテナ容器の内蓋が傾く現象について、内蓋の形状、インキ粘度、傾きが発生するメカニズムなどを分析。異常検知システムを自前で安価に構築し、手直しロスの削減を達成した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● デジタル技術を利用した改善 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化 |
| <p>事例4</p> | <p>PLCを使用したデータ収集・監視システムによる生産性向上</p> <p>旭化成株式会社 守山製造所 守山設備技術部 金築 智広</p> <p>工場では、生産・品質・環境等の課題に対して、スマートファクトリー化による解決要求が高く、また多様である。そこで現在と将来の要求に整合し、かつ安全性のよいシステムを構築した。その活動事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● デジタル技術を利用した改善 ● 設備の信頼性向上 ● 品質安定化・向上 | <p>体質強化による創益体質への変革</p> <p>東北グンゼ株式会社 柳田 陽平 染工課 生産管理課 係長 仲鉢 浩也</p> <p>2022年重点品質指標である直行率悪化により経営に大きな影響を及ぼした。地球環境への取り組みを求められる状況下で、後戻りしない品質改善・管理の仕組みを構築した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 品質安定化・向上 ● 改良保全 ● デジタル技術を利用した改善 |

| | | |
|-------------|---|--|
| <p>事例9</p> | <p>ラップラウンドケーサー 集積バー衝突での停止時間0化</p> <p>サントリープロダクツ株式会社 宇治川工場 包装部門 平 隼人</p> <p>飲料箱詰め機において、主要な停止事象である集積バー製品衝突を選定し、原理原則からトラブルの根本原因を究明し、対策を施行することで、故障ゼロ化を目指した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の信頼性向上 ● 自主保全 | <p>圧延機巻取装置 ロータリージョイント延命化</p> <p>日本製鉄株式会社 瀬戸内製鉄所 友栗 誠一 設備部 広畑機械整備室 班長</p> <p>圧延機巻取装置ロータリージョイントの故障防止・延命化のため、①ロータリージョイント水冷化によるシールリング摩耗抑制 ②ドレン背圧防止のためのドレン別系統化 ③ドレン量と背圧圧力の定量点検化の各改善を行った事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 改良保全 |
| <p>事例10</p> | <p>紙パックライン 緩衝材に関する作業負荷軽減</p> <p>シスメックス株式会社 小野工場 診断薬生産本部 永井 裕士 第二生産部 製造課 一係</p> <p>紙パックラインで使用する緩衝材のセット作業は負荷が高い状態であった。そこで、複数の課題に対してトライ&エラーを繰り返し作業負荷軽減に成功した。同時に段ボールレスによるSDGsに貢献した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作業の効率化・容易化 ● 改良保全 ● 環境・省エネルギー | <p>トレビーノカートリッジ組み立て工程の稼働率向上</p> <p>東レ株式会社 滋賀事業場 木村 遼 工務部 工務保全課 課員</p> <p>家庭用浄水器トレビーノは大半を自動機で生産している自動機特有のトラブルを削減するため、BI(Business Intelligence)ツールを用いた定量把握・要因分析およびクラウドサービスを活用した情報共有の効率化を進め、迅速な対策の実行により、稼働率を87%から98%に改善した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● デジタル技術を利用した改善 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 設備の信頼性向上 |
| <p>事例11</p> | <p>圧縮機組立ライン設備故障削減による生産能力向上</p> <p>ダイキン工業株式会社 堺製作所 空調生産本部 福崎 裕員 臨海製造部</p> <p>設備導入後30年以上となる、圧縮機組立ラインの故障ロス削減に取り組んだ事例(※)を発表する。 ※老朽化設備に対する「中長期の更新・メンテナンス計画」「状態監視による予知・予防保全」「TPM活動による自主保全能力向上取り組み」</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 計画保全 ● 予防保全・予知保全 ● 自主保全 |  |

